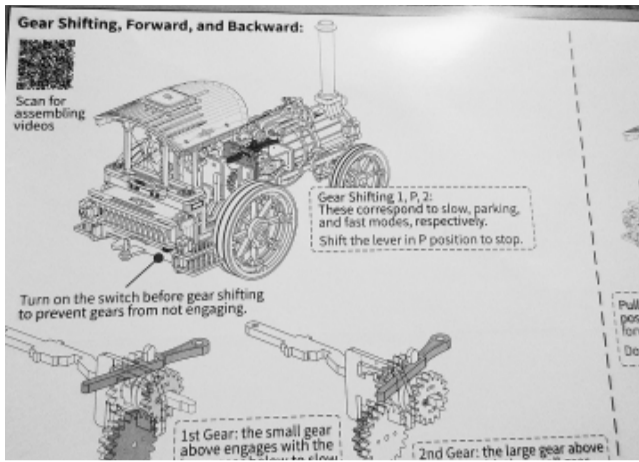


# リレー随筆「DIYクラフト」



日頃全国 夏は暑い日が長引くと予報 港湾機関紙 されています。毎日現場で をご愛読頂 奮闘されている組合員の皆 合員の皆様 さま、ご安全に！

さて、教宣部員の持ち回 りで、2017年5月(2 こんいち りで、2017年5月(2 は、教宣部 90号)で掲載が始まった 員の外池で 「リレー随筆も今月号(3 75号)で7年と2ヶ月が 梅雨も明 経ちました。 掲載を行うことについて 猛暑日、今 は、色々な意見がありまし



## 港湾を 兵站基地 にするな!

「港湾を兵站基地にするな!」「港湾労働者と戦争を考える」米の対イスラエル軍事支援。米主要7労組「即時中止せよ!」バイデン氏へ書簡

約600万人を代表する 要労組7組織」がバイデン 幅広い職種の労組「米国王 大統領宛に米の対イスラエ

ル軍事支援「即時中止せよ !」と題した書簡を送った との報道に接し、目を見は った(「しんぶん赤旗」24 年7月25日付)。これは、 パレスチナ自治区ガザに攻 撃を続けるイスラエルへの 軍事支援を直ちに止めるよ う求めたもので、「米国の 軍事支援の即時中止がこの 紛争を平和的に解決するう

たが、教宣部全体の文章力 を高めることが狙いのひと つでもありました。

当初は、長く続けられる のか心配ではありまし た。毎新年号では「教宣部 の抱負」の掲載でお休まし ています。毎月号、教宣 部員の努力と協力で途切れ ることなく、ここまで連載 が続いてきました。今は、

「港湾を兵站基地にするな!」「港湾労働者と戦争を考える」米の対イスラエル軍事支援。米主要7労組「即時中止せよ!」バイデン氏へ書簡

約600万人を代表する 要労組7組織」がバイデン 幅広い職種の労組「米国王 大統領宛に米の対イスラエ

ル軍事支援「即時中止せよ !」と題した書簡を送った との報道に接し、目を見は った(「しんぶん赤旗」24 年7月25日付)。これは、 パレスチナ自治区ガザに攻 撃を続けるイスラエルへの 軍事支援を直ちに止めるよ う求めたもので、「米国の 軍事支援の即時中止がこの 紛争を平和的に解決するう

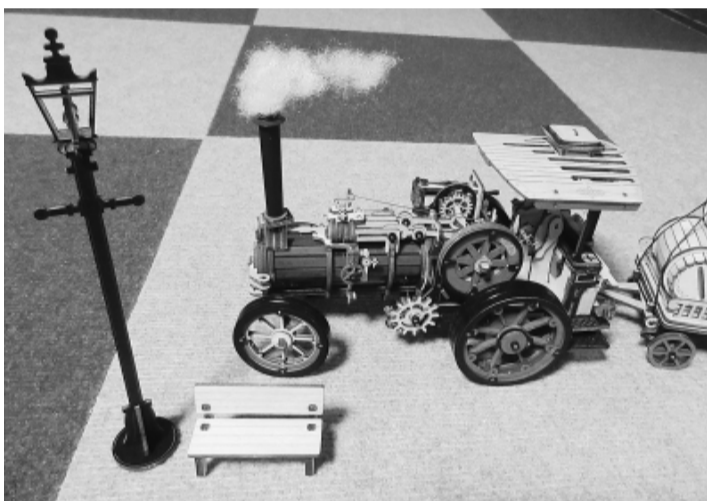
たが、教宣部全体の文章力 を高めることが狙いのひと つでもありました。

当初は、長く続けられる のか心配ではありまし た。毎新年号では「教宣部 の抱負」の掲載でお休まし ています。毎月号、教宣 部員の努力と協力で途切れ ることなく、ここまで連載 が続いてきました。今は、

連載が長きに亘って続けら れたらの思いで います。かといっ て自分は、半年に 1回めづつくる リレー随筆の執筆 に四苦八苦してい る有様です。

先日、暇つぶし 買求めて早速、開封し中 身を見て「ビックリ!」組 し掛かる年代として、運動 ないかなと探した 英語で描かれていました。 止、手先の機能維持に、こ れと言った趣味の無い自分 には、宜しいのではないかと 感じ入ることになりました。

次回、古澤部員です。 乞うご期待。



自分で後期高齢者に差 自分自身後期高齢者に差 運動 止、手先の機能維持に、こ れと言った趣味の無い自分 には、宜しいのではないかと 感じ入ることになりました。

次回、古澤部員です。 乞うご期待。

「不当労働行為」と断じ ました。これを不服とし た日港協は、中労委(国) を相手取って「中労委の 命令の取り消し」を求め ました。それは産別交渉 体制の否定で絶対に向け られないとの全国港湾の 主張を紹介しました。さ て、先に進み、第58条の 原文を紹介して、読み進 めていきます。

第58条 関連協定書・確 認書・覚書等

産別協定の各条項の関 連で「別途定める」、「別 途」等とした協定・確認 書・覚書、ならびにその 都度労使合意締結した

最終章の第12章は「付 属協定」です。この章は、 産別協定第1章から第11 までの賃金や作業体制・ 安全などの各協定を補充 する詳細な規定を編纂し ていると照会し、前回は 第57条の産別制度賃金の 規定を読み進めてしまし た。同時に、日港協が、 「産別最低賃金の団交に 応ずることは独占禁止法 に抵触する恐れが払拭で きない」と言い始め、中 央労働委員会はこれが 「不当労働行為」と断じ ました。これを不服とし た日港協は、中労委(国) を相手取って「中労委の 命令の取り消し」を求め ました。それは産別交渉 体制の否定で絶対に向け られないとの全国港湾の 主張を紹介しました。さ て、先に進み、第58条の 原文を紹介して、読み進 めていきます。

## 港湾産別協定⑤⑤

### 第12章 付属協定

- 第1項 作業基準協定
- 第2項 RORO船に係る作業基準に関する協定
- 第3項 全賃検数に関する確認書の運用について
- 第4項 常用港湾労働者派遣制度に関する確認書
- 第5項 事前協議制度に関する協定
- 第6項 港湾労働者年金制度に関する協定
- 第7項 港湾労働者転職資金制度
- 第8項 コンテナ船多段積み、危険品荷役に関する確認書
- 第9項 危険品・有害物の夜間作業に関する確認書
- 第10項 PNCB船積み、船卸しにおける安全基準に関する確認書
- 第11項 スーパー中枢港湾及びコンテナターミナルの自動化に係る確認書
- 第12項 名古屋港TCBに係る中央労使確認書
- 第13項 ゲートオープンに係る社会実験に関する確認書
- 第14項 アライアンスに関する確認書
- 第15項 付属資料を添付する確認書
- 第16項 付属資料を添付する確認書
- 第17項 名古屋港TCBに係る中央労使確認書
- 第18項 ゲートオープンに係る社会実験に関する確認書
- 第19項 アライアンスに関する確認書
- 第20項 以上が、編纂されたこの産別協定の各条項を補充する協定や確認書

上げていくことを肌身で感 となっている。

また、全国港湾2024 年度運動方針案では「港湾 海・空・港湾20労組運動を 兵站基地にするな!」の ベースとした具体的取り組 を兵站基地にするな!」の ベースとした具体的取り組 を兵站基地にするな!」の ベースとした具体的取り組

取り組むについて、陸・海 空・港湾20労組の取り組 した米国王主要7労組の行動 との連携強化を謳ったもの ているのではないかと痛感 する。

よって、米国王主要労組約 600万人とまではいわな いまでも、心ある互いに同 じ信念・理念をもつ各団体 と連携をして、このような 具体的且つ社会的な行動に 出るときが来たと確信す る。

港労連委員長 竹内 一

については、9月18〜19日 に巨開催される全国港湾 第17回定期大会に於いても 仲間の皆様からの関連なる ご意見を頂戴することにつ いて期待したい。

(全国港湾委員長代行・日 港労連委員長 竹内 一)

